

## 4. 熊本市宿泊税検討委員会経費 新

(補正額)450千円  
(所管課)観光政策課

### ○熊本市宿泊税検討委員会の設置に要する経費

#### 現状・課題

- 新型コロナウイルスの影響により本市の観光も大きな影響を受けたが、現在、観光需要に回復傾向が見られている。
- 今後は、観光需要の早期回復とさらなる発展を目指す必要があり、また、今後の人口減少が見込まれる中で、本市経済が持続的に成長していくためにも、観光への取組を強化していくことが重要である。
- 訪れる方にとって魅力ある観光まちづくりなどの取組を持続的に行うには、本市観光を支えていくための安定的な財源確保についても検討が必要である。

#### 事業概要

○事業費:450千円

#### ○事業内容

- ・熊本市宿泊税検討委員会の設置に要する経費  
今後の本市観光を支えていくための安定的な財源確保として、宿泊税の導入の可能性について、多様な視点から客観的な検討を行うもの。

≪積算内訳≫

- ・委員報酬 9人×10千円×5回開催

#### ○主な検討議題

- (1)宿泊税導入の妥当性
- (2)財源の規模及び用途の妥当性
- (3)制度設計 等

#### ○委員選定案

学識経験者、宿泊業界、旅行業界、経済団体 等  
計 9名

#### ○スケジュール(案)

令和5年10月	熊本市宿泊税検討委員会(第1回)開催 (以降、第5回まで開催予定) 関係事業者向けアンケートの実施
令和6年3月	熊本市宿泊税検討委員会からの答申

※答申内容を踏まえ、今後の方向性について判断する。